



高山課長に目録を手渡す片岡顧問(右)

災害用ダイヤル知って

公衆電話会
青森支部 弘前市に冊子寄贈

日本公衆電話会青森支部(橋本精二支部長)は13日、大規模災害時に安否確認ができる「171災害用伝言ダイヤル」をより広く

手引きには、171

の掛け方、利用方法などについて詳しく紹介されており、市は防災マイスター育成講座参加者や自主防災組織へ配布する考え。

この日は同支部の荒屋敷武則事務局長と片岡俊一顧問が市役所を訪れ、市防災課の高山知己課長に冊子400冊とポケットティッシュ400個を贈った。

片岡顧問は「防災マイスターの方々にまずは理解していただき、そこから市民の皆さんに広まってほしい」とし、高山課長は「さまざまな防災関連の場面でPRしていきたい」と話した。

(西尾 瑛)

※この画像は当該ページに限って
陸奥新報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp